

## 情報公開文書

現在消化器内科では、「消化器悪性腫瘍・前がん病変に対するマルチオミックス解析」に関する研究を行っています。この研究では、消化器悪性腫瘍や前がん病変などの疾患で切除もしくは生検で採取された組織や血液サンプルを使用しています。この研究は京都大学医学部附属病院の消化器内科、肝胆膵・移植外科、消化管外科で主に行っています。また、この研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。

これまでに当院の研究に組織・血液などの試料提供をしてくださった方で、この研究への利用を望まれない方は、このお知らせの末尾にあります窓口までご連絡ください。

### 1. 研究課題名

「消化器悪性腫瘍・前がん病変に対するマルチオミックス解析」

### 2. 研究の意義・目的

消化器悪性腫瘍や、消化器前がん病変の遺伝子異常や分子発現異常を解析し、消化器悪性腫瘍の早期診断や治療に有用な新しい分子を探索することを目的としています。

### 3. 研究の対象と方法

研究の対象となる患者さんは、消化器悪性腫瘍(胃癌・肝癌・食道癌・膵癌・胆道癌・十二指腸癌・小腸癌・消化器悪性リンパ腫・消化器間葉系腫瘍・膵神経内分泌腫瘍など)または消化器前がん病変(胃・十二指腸・小腸・大腸における腺腫・腸上皮化生・食道上皮内腫瘍・バレット上皮・大腸異形成病変・肝異型結節・肝細胞腺腫・膵嚢胞性病変など)を有すると診断されている方です。また、診断もしくは治療のために、2001年4月～2026年4月の間に外科的もしくは内視鏡的に切除された手術検体の一部、診断目的で行った生検検体の一部、および血液サンプルを用いて、ゲノム・エピゲノム・遺伝子発現・タンパク発現についての網羅的な解析を行います。また、比較対照として、上記疾患以外の方でも、悪性腫瘍・良性疾患に対する治療・診断目的の切除標本・生検組織の余剰サンプルがある場合は、それを用いて同様の解析を行います。

### 4. 研究組織

研究実施機関：京都大学医学部附属病院消化器内科 肝胆膵・移植外科 消化管外科

共同研究機関：大阪赤十字病院 消化器内科

兵庫医科大学医学部附属病院 肝・胆・膵内科

神戸大学医学部附属病院 消化器内科

大阪国際がんセンター 消化管内科

大津赤十字病院 消化器内科

京都医療センター 消化器内科

日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科

神戸市立医療センター中央市民病院 消化器内科  
兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器内科  
京都桂病院 消化器内科  
倉敷中央病院 消化器内科・外科  
田附興風会医学研究所北野病院 消化器内科  
明和病院 消化器内科

研究責任者： 高井 淳

5. 個人情報の取り扱いについて

患者さんのプライバシーは十分に尊重され、患者さん個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。個人情報是对応表を作成したうえで匿名化し、個人情報管理者が取り扱います。

6. 研究結果の帰属と発表

この研究で得られた結果は京都大学に帰属し、専門の学会や学術雑誌に発表します。また、解析データは他の研究を行う上でも重要なデータとなるため、匿名化の上でデータベースに登録し、国内外の研究者と共有します。

7. 研究に関する資料の入手・閲覧について

他の研究対象者の個人情報の保護に支障がない範囲での研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧ができますので、下記の窓口までお申し出ください。

8. 研究への参加を希望されない場合

もしこの研究に検体を使用しないことをご希望の方がおられましたら、下記の窓口までご連絡ください。

9. 研究資金・利益相反について

この研究に関わる資金の種類や利益相反については下記のとおりです。

- 1) 研究資金の種類：科学研究費 提供者：文部科学省
- 2) 提供者と研究者との関係：資金提供者の研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与なし
- 3) 利益相反：なし

利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

この研究について何かわからないことや心配なことがありましたら、いつでも下記の窓口にご相談ください。

研究対象者および関係者からの相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

TEL 075-751-4748 E-mail [ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

京都大学医学部附属病院 消化器内科医局 TEL 075-751-4319